

解答プリント「中学社会・地理的分野」

■補充プリント

11 東北地方／北海道地方

【評価の観点】㊦：思考・判断・表現 ㊦：技能 ㊦：知識・理解

解答例	解説
<p>1 ㊦ ① 米</p> <p>㊦ ② りんご</p> <p>㊦ ③ さくらんぼ</p> <p>㊦ ④ 小麦</p> <p>㊦ ⑤ 大豆</p> <p>㊦ ⑥ じゃがいも</p>	<p>1 ① 上位7道県のうち、4県が東北地方となっている。新潟県と北海道は年度により入れかわることがあるので注意する。</p> <p>② 青森県は弘前市を中心とする津軽平野、長野県は長野盆地・松本盆地がりんごの主産地である。</p> <p>③ さくらんぼは山形盆地を中心に栽培されている。</p> <p>④ 北海道では十勝平野を中心に石狩平野・富良野盆地などで小麦栽培がおこなわれている。</p> <p>⑤ 北海道が全国の約3割を生産する大豆の生産量は、消費量の8%でしかない。</p> <p>⑥ じゃがいもの生産量の約8割は北海道がしめている。</p>
<p>2 ㊦ (1) オホーツク海</p> <p>㊦ (2) 十勝平野</p> <p>㊦ (3) 白神山地</p> <p>㊦ (4) 最上川</p> <p>㊦ (5) 奥羽山脈</p>	<p>2 (1) オホーツク海沿岸では、流氷が接岸している間は漁ができなくなる。</p> <p>(2) 十勝平野では、畑作と畜産を組み合わせた大規模な混合農業が行われている。</p> <p>(3) 青森県と秋田県の県境に位置する白神山地は、ぶなの原生林が自然のまま残されていることから、1993年に世界自然遺産に登録された。</p> <p>(4) 最上川は日本三大急流の1つに数えられている。江戸時代に河川が整備されたことで、水運が発達した。</p> <p>(5) 奥羽山脈を境として太平洋側の気候と日本海側の気候に分けられ、自然環境が大きく異なる。</p>
<p>3 ㊦ (1) 仙台市</p> <p>㊦ (2) 減反政策</p> <p>㊦ (3) 屯田兵</p> <p>㊦ (4) 泥炭地</p>	<p>3 (1) 仙台市の人口は約107万人(2013年)で、宮城県の人口の半分近くをしめている。</p> <p>(2) 米の「生産調整」ともいう。1970年に始まり、2013年に政策の廃止が発表された。</p> <p>(3) 屯田兵は元士族を中心に募集された。現在も屯田兵に関係のある地名が残っている。</p> <p>(4) 他の場所から農業に適した土を運び入れる客土とよばれる土地改良が行われたことで、石狩平野は日本有数の稲作地帯となった。</p>